

品質管理を変える。

価格競争力だけを目的にした海外進出は終わった

株式会社テクノフレックスは積極的な海外進出を展開しています。その目的は、アジアを中心とした低賃金による人海戦術生産ではありません。確かにこれまで、日本の製造業は量産品の前工程を海外工場で行い、国内工場で組み立てることによって、価格競争力を持つことができました。しかし、この生産体制が通用した時代は終わったのです。これからは、国内と同等またはそれ以上の設備を海外へ積極的に導入し、生産コストの抑制と品質の向上という2つの課題を同時にクリアすることが求められています。

どの拠点で生産された製品でも均一に高品質へ

当社でも海外進出の意味を大きく変えようとしています。価格競争力の強化だけでなく、品質管理の向上を目的とした海外進出です。具体的には、世界のどの拠点で生産された製品でも、国内生産と同等に均一で高品質であること。たとえば、中国（上海・天津）とベトナム（ホーチミン）にある工場は今後も当社の技術力を担う戦略拠点になることは間違いありません。それらに対する設備・技術投資は積極的に続けていく計画です。当社が独自に設計・製造した大型真空熱処理炉をベトナムと新潟に設置。テクノフレックスの海外戦略は、価格競争力を持つ供給体制の確立はもちろん、国内生産拠点並みの生産品質を維持するという2つの戦略を実現する基盤となっています。

Semantics of globalism

海外展開の意味



TF ベトナムでの品質確認会議
当社に出荷されるすべての製品には、厳しい品質管理が毎日おこなわれています



波状管の生産現場
上水道配管用に使用される波状管は、TF ベトナムで製造され、当社に出荷されます